

仙台のみならず東北全域の経済活性化を目指し、東北全域の起業家を対象とした様々なプログラムを実施



**グローバルスタートアップ創出・育成  
東北グロースアクセラレーター**  
イノベーションの創出や社会的課題の解決などを目指しながら事業の拡大を図り、地域経済の活性化を目指すスタートアップに対し、必要な支援を提供することで事業の成長を加速させる東北全域を対象とした広域アクセラレーションプログラム。



**ソーシャルイノベーター育成・支援  
東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター**  
課題先進地の東北で、社会起業に関する機運を醸成し、集中支援プログラムを通じて社会課題解決に資する社会起業家を輩出するとともに、仙台を中心として東北に社会起業家を連続的に輩出するエコシステムを構築する。



**先端テクノロジーを活用した  
SDGsスタートアップ創出プログラム**  
未充足の社会課題に対し、大学の研究シーズ等革新的な技術を活用したビジネスプランの立ち上げを支援することで、SDGsの達成に資する国内外の課題解決を目指すビジネスを創出し、ユニコーンの輩出による地域経済活性化を目指す。



**SENDAI for Startups!**  
地方最大級の起業イベント。国内外から1,000名以上が参加。起業家や支援者等が集い、つながり、着火する場。



**500Startups Pitch Session**  
英語でのピッチスキル向上に向けトレーニングを実施。大学生、外国人起業家や海外展開を目指す起業家が参加。

担当部局名・担当者数

庁内横断の連携体制でソフト・ハード両面からスタートアップ・エコシステム拠点形成を促進

経済局産業政策部（局長1名、次長1名、部長1名）

経済企画課

【IPO支援】課長1名、係長1名、企画調整係2名

地域産業支援課

【外部人材活用支援】【制度融資】係長1名、企業支援係4名

産業振興課

【イノベーション創出】【スタートアップ支援】  
課長1名、イノベーション推進担当課長1名  
創業支援係5名、成長産業係6名、国際経済室4名

企業立地課

【助成金】課長1名、都市型産業係3名

まちづくり政策局政策企画部

プロジェクト推進課

【国家戦略特区】【公民連携窓口】課長1名、課員8名

都市整備局市街地整備部

都心まちづくり課

【都心再構築プロジェクト】課長1名、都心整備係4名



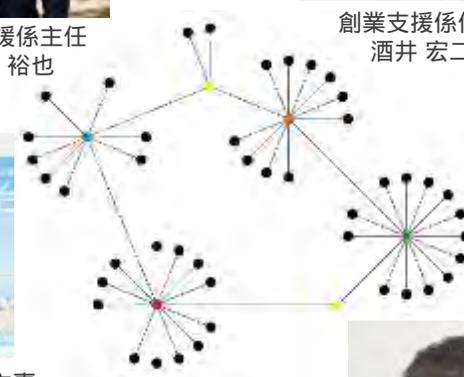
創業支援係主任  
白川 裕也



創業支援係係長  
酒井 宏二



プロジェクト推進課主事  
松原 由佳



成長産業係主事  
東北大学特任助教  
加藤 廣康

支援の顔となる職員

- ・ 経済局 産業政策部 産業振興課 創業支援係 係長 酒井 宏二（経験年数2年）【スタートアップ支援】
- ・ 経済局 産業政策部 産業振興課 創業支援係 主任  
Public Connector / STARTUP IMONITY 代表 白川 裕也（経験年数10年）【スタートアップ支援】【U-40】
- ・ 総務局東京事務所（経済産業省派遣）  
経済産業省 新規事業創造推進室 スタートアップ支援担当 稲舟 基久（経験年数2年）【スタートアップ支援】【U-40】
- ・ 経済局 産業政策部 産業振興課 成長産業係 主事  
東北大学情報知能システム研究センター 特任助教 加藤 廣康（経験年数3年）【イノベーション創出】【U-40】
- ・ 経済局 産業政策部 経済企画課 企画調整係 主査 大竹 洋平（経験年数10年）【IPO支援】【U-40】
- ・ まちづくり政策局 政策企画部 プロジェクト推進課 主事 松原 由佳（経験年数4年）【国家戦略特区】【公民連携窓口】【U-40】

専門性や庁内外にネットワークを持つ職員がハブになり、様々なリソースをスタートアップ支援に活用

## MOUや包括連携協定を積極的に締結し、強固な連携体制を構築 課題先進地・東北からイノベーション創出を目指す

### 仙台起業家週間「SENDAI Entrepreneur Week」

「SENDAI for Startups!」を単発のイベントで終わらせず、仙台市全体で起業を盛り上げていく雰囲気を出出できるよう、2015年から「SENDAI Entrepreneur Week（仙台起業家週間）」を開始。地域の様々な団体と連携し、起業・創業に関する様々なイベントを仙台市内で集中的に開催。「SENDAI Entrepreneur Week 2019」では期間中30以上のイベントが開催され、3,500名以上の方が様々なイベントに参加。

「SENDAI Entrepreneur Week」の開催を通じて、「起業」という選択肢を東北に根付かせ、起業への憧れを創出し、起業家を増加させ、起業家を応援する地域の機運をさらに高めることを目指す。

### 仙台経済同友会・東北三栄会との連携

地域経済を牽引する企業経営者の団体である仙台経済同友会及び東北三栄会と連携し、アクセラレーションプログラム採択企業と経済同友会会員企業とのマッチングイベントの開催。出資機会や事業提携の場の提供、アクセラレーションプログラムメンターやアドバイザリーボードとしての実践的なアドバイスの実施、東北の起業家・経営者と大学生とのマッチングイベントの開催を通じた起業家の成長支援を連携して実施している。

### Nokia社とのドローン等による防災・減災プロジェクト

2005年から続く仙台・フィンランドの関係の発展形として、フィンランドを代表するグローバル企業NOKIAと連携協定を締結。ドローン、IoT、次世代通信技術等を活用したまちづくりと、地域産業の活性化、国際化を推進。

### Philips Co-Creation Centerの開設

オランダに本社を置き、口腔ケア等のヘルスケア事業において世界的に事業を展開しているフィリップスが、課題先進地・東北をフィールドとした実証を行うことを目的に日本初の研究開発拠点を仙台市内に開設。

本市は、同社を事業パートナーとして、ヘルスケア領域の課題をITで解決するスタートアップの創出とオープンイノベーションの促進をテーマとした新たな取り組みであるHealthTech推進事業を開始。

### 民間人材の登用

経済局では、中央省庁や日本貿易振興機構等出向経験者、商社、保険、鉄鋼、金融、教育、情報通信産業等を経験した社会人採用職員を多く配置しており、シリコンバレー等でスタートアップ支援に携わった職員もいる。また、七十七銀行と「地方創生に向けた包括連携協定」を締結し、七十七銀行より1名職員が派遣され金融機関のノウハウを活かした企業誘致・起業支援活動を展開している。



「ユニコーン」を輩出するためには市場の広がり避けて通れない課題となるため、  
 欧米（フィンランド共和国をハブ）、アジア（タイ王国をハブ）、中東・アフリカ（INTILAQをハブ）に  
 幅広いネットワークを構築



**国際産業振興協定**

2005年からビジネスフィンランドやフィンランド共和国オウル市等と産業振興に関する協定を締結し、スタートアップの相互支援、EU市場への海外展開を支援。



**Polar Bear Pitching**

フィンランド共和国BusinessOuluと連携しPolar Bear Pitchingの日本予選会を仙台で開催。仙台的起業家が本選出場し日本人初となる決勝進出。



**IGNITE SENDAI STARTUPS**

仙台での起業を考える外国人を国内外から仙台へ招聘。イベント開催、専用ウェブサイト、動画、SNS等を通じて、住環境やビジネス環境に関する情報提供、支援者とのマッチング、ビザ取得支援などを実施し、事業の立ち上げを支援。



**ハーバード・ビジネス・スクール**

ハーバード・ビジネス・スクールの学生が、ジャパンIXPという授業の一環として毎年東北を訪問。仙台市とINTILAQ東北イノベーションセンターが連携し、世界最先端のソーシャル・イノベーションについて東北の社会起業家とのワークショップやフィールドワーク、ケーススタディを実施。

**Digihubへのスタートアップ派遣**



**スタートアップVISA**

国家戦略特区及び経済産業省の外国人創業・起業活動促進事業を活用。日本で創業する外国人に必要とされる「経営・管理」の在留資格の認定要件を緩和。

**SXSWへのブース出展**

**仙台多文化共生センター**

多言語による生活相談窓口を開設。様々な相談対応（在留資格、行政手続き、生活情報など）や情報提供等を行う。

**タイサポートデスク**

タイ王国と協力協定を締結し、サポートデスクを開設。ASEAN市場への海外展開を支援。

**SLUSH TOKYOへのブース出展**



**500Startups Pitch Session**

英語でのプレゼンテーションスキルを高めるためのワークショップを開催。東北から世界へ目を向ける機会を作るとともに、仙台にいる外国人の起業支援を行う。

**スタートアップ奨学金**

仙台での創業に関心のある学生等を対象に奨学金を貸与。大学生等をグローバル人材として育成する。



**INTILAQネットワーク（中東、アフリカ）**

INTILAQ東北イノベーションセンターのネットワークを活用し、カタールをハブとした中東マーケット（イスラム圏含む）、INTILAQチュニジアをハブとしたアフリカマーケットへのアクセスを支援。

仙台・東北のスタートアップエコシステムの発展に向け、国内外の自治体と連携し、ソーシャル・イノベーションを加速

フィンランド共和国オウル市（2005～）

オウル市と仙台市は2005年に協定を結び友好関係にあり、**仙台フィンランド健康福祉センター**を拠点として、健康福祉分野を中心に起業家や中小企業の相互支援を実施してきた。近年はスタートアップ支援での連携を強化しており、2019年から日本-フィンランド国交樹立100周年を記念し、両国の関係の更なる発展を願い、オウル市発祥の**ピッチイベント「Polar Bear Pitching」**の国内予選を仙台で開始した。

東北各県との広域連携（2011～）

本市のアクセラレーションプログラム（**東北グロースアクセラレーター**、**東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター**）は、仙台市内に限定せず、広く東北6県のスタートアップ・社会起業家を対象としており、仙台から東北全体にエコシステムを構築することを目指し、宮城県をはじめ東北各県と連携してプログラムの広報、参加者の発掘・フォローアップ、各県でのセミナー・ワークショップ開催等を行なっている。

東北各都市との連携イベントの開催（2015～）

2015年より地方からグローバルスタートアップを輩出することを目指し、総務省、NICTと連携し、スタートアップ支援に積極的な自治体（主催：青森県、仙台市、滝沢市、八幡平市、郡山市、会津若松市など）とICTスタートアップに特化した**ピッチイベント「SPARK! TOHOKU」**を開催。地方から世界へ挑戦するスタートアップの発掘・育成を行なっている。

京都市・水俣市（2017～）

2017年に**ソーシャル・イノベーションの推進に係る連携協定**を締結し、社会起業家の相互支援、支援人材育成、企業や自治体に対する啓発イベントの開催等を行なっている（**ソーシャル・イノベーション・クラスター構想**）。

神戸市（2020～）

行政課題や地域課題をICTを活用して解決することを目指す事業を両市とも実施しており、連携を強化することで成功・失敗事例の共有、スタートアップの相互支援等を進めるため、2020年内に**ICTを活用した行政課題の解決に向けた共同プロジェクト**を実施予定（**Urban Innovation Japan構想**）。

東京都（2020～）

**共存共栄を図るベンチャー育成事業**にて連携予定。東京発ベンチャーの他地域への事業展開、各地域ベンチャーの東京のエコシステムを活用した事業加速の実現を目指すプログラム。

この他に個別イベントでの連携やイベントへの登壇等で様々な自治体と関係構築を行っている。



大胆な規制緩和と豊富な実証フィールドを組み合わせ、仙台・東北から世界を変えるソーシャル・イノベーションを

**国家戦略特区（ソーシャル・イノベーション創生特区）**

産業競争力強化のため、国が区域を限定して規制改革を推進する「国家戦略特区」。  
 仙台市は全国10区域の1つに選ばれており、さまざまな規制緩和の適用を受けることができる。  
 仙台市では主に「社会起業」「女性活躍」「近未来技術実証」「医療」「公共空間利活用」の5分野で取り組みを進めている。



**地方創生推進交付金**

- ・ 仙台・東北の地域経済を持続的に発展させるソーシャル・イノベーション創出事業  
 概要：革新的ビジョンと事業戦略を描き、プロジェクト遂行の強い意欲と覚悟を有する起業家を育成し、地方から社会課題解決型ビジネスを創出し、同様の課題を抱える国内外の地域への展開を支援する。（東北グロースアクセラレーター、東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーターなど）
- ・ 仙台・東北の社会課題解決を先導するIT産業エコシステム構築事業  
 概要：IoT、クラウド、ビッグデータ、人工知能、5G等の先端IT技術を活用したビジネスの創出支援の事業を実施する。（ICTプロトタイプ実証支援、X-TECHイノベーション推進事業など）

## スタートアップの多くが抱える「魔の川」「死の谷」「ダーウィンの海」を超えるための支援をマルチセクターの連携で整備

### 新商品特定随意契約制度（トライアル発注制度）

宮城県では、新商品特定随意契約制度（トライアル発注制度）を実施しており、県における調達の機会を増やすことにより、新商品等の販売実績作りと売上増を直接的に支援するとともに、社会的な認知度の向上を目指している。

### LIFE-TECH INNOVATION SENDAI（プロトタイプ実証支援）

地域課題や行政課題に対して、ICTスタートアップが開発したプロトタイプに対して、市民や行政、企業などマルチセクターでブラッシュアップを行う共同実証事業を実施。ピッチコンテストで選抜されたスタートアップに対して、開発委託契約を締結し、PoCを支援。行政や地域の実証フィールドを提供し、実用化へ向けた支援を行う。

### CareTech（健康福祉機器・サービス開発支援）

介護（Care）とIT（Technology）の融合をテーマに、IT事業者の介護分野への新事業展開を推進。介護現場の労働負担の軽減や生産性の向上、高齢者の自立につながるIT製品・サービスの開発を支援。  
 仙台市内の介護職者（約70名が登録）と連携し、貴社の製品・サービス開発についてアドバイスや実証フィールドを提供する体制を整備。

### Japan-Finland Bosai Tech Open Innovation Challenge

経済産業省と独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)が開催した「地域への対日直接投資カンファレンス (Regional Business Conference : RBC)」の一環として、フィンランドICT企業8社を本市に招聘し、本市沿岸部で実証実験を実施したノキア社のドローン・プライベートLTE通信網や先端ICT技術等を活用した防災課題解決のハッカソンを実施。防災・減災分野とICT技術の掛け合わせをテーマとしている。  
 最優秀となった企業には、仙台市から2万ユーロを提供され、実用化に向けたPoCを実施する。

### BOSAI-TECHイノベーション創出プログラム

事業開発手法（デザインシンキングやCSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）等）を学ぶ講義やワークショップ、ビジネスモデル計画、採択企業へのサポート（各種メンタリング等）によりBOSAI-TECH製品・サービスの事業開発を支援する。

### 福島イノベーションコースト構想・福島ロボットテストフィールド

福島ロボットテストフィールドと東北大学、仙台市が連携し、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット等の共同研究開発、実証試験、性能評価を実施し、社会実装を加速させる。



スタートアップ支援に関しては、調達環境や企業等とのオープンイノベーションへの影響が懸念されるが、新型コロナウイルス感染症によって明らかになった社会構造上の課題に対して、ICTや大学の研究シーズ・技術シーズを活用し、その課題解決に挑戦する起業家や中小企業のチャレンジを応援するための取り組みを集中的に実施する。

例：DXの推進（オンライン教育、遠隔診療、メンタルヘルス、コミュニケーションツール等）、近未来技術の実証等

### グローバルスタートアップ創出・育成事業（東北グロースアクセラレーター）

東北6県を対象とした国内初の広域アクセラレーションプログラムとして2017年にスタート。ICTや大学の研究シーズ・技術シーズを活用し、地域や社会の課題を解決することを目指すスタートアップ企業、新規事業へチャレンジする中小企業を集中支援するプログラム。**2020年度は「With/Afterコロナの社会の変化」をテーマに顕在化した課題に挑むスタートアップを集中的に支援。**

### 先端テクノロジーを活用したSDGsスタートアップ創出プログラム（SDGsアクセラレーター）【新規】

未充足の社会課題に対し、大学の研究シーズ等革新的な技術を活用したビジネスプランの立ち上げを支援することで、SDGsの達成に資する国内外の課題解決を目指すビジネスを創出し、ユニコーンの輩出による地域経済活性化を目指す。

**東北大学、東北大学ベンチャーパートナーズ等と連携し、新型コロナウイルス感染症によって生じた社会課題の解決に対して挑戦するアイデアの社会実装を支援。**

### 課題解決ICTプロダクト実証支援（LIFE-TECH INNOVATION）

地域や社会の課題を解決するICTを活用した事業アイデアの具体化を支援するための支援プログラムとして2018年にスタート。アイデアをブラッシュアップするメンタリング、セミナー、フィールドテストを行う環境を提供。

**2020年度は「Urban Innovation Japan」と連携し、行政課題の解決（新型コロナウイルス感染症を踏まえた業務及び事業遂行に関する民間企業等との連携・提案・アイデアを庁内照会中）、DX推進のために有効なアイデアを全国から募集し、社会実装に向けた支援を行う。**

### ソーシャル・イノベーター育成・支援（東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター）

課題先進地の東北で、社会起業に関する機運を醸成し、集中支援プログラムを通じて社会課題解決に資する社会起業家を輩出するとともに、仙台を中心として東北に社会起業家を連続的に輩出するエコシステムを構築することを目的に2017年にスタート。**地域や社会の課題に対して挑戦する社会起業家を支援する。**

### X-TECHイノベーション推進事業（X-TECH INNOVATION Project）

仙台市をフィールドに、IoTやAI、VR/AR、5Gなどの先端技術と様々な産業との掛け合わせ（X-TECH）による新事業の創出やそれをリードする先端IT人材の育成・交流により、テクノロジーの力でイノベーションを生み出し、都市の体験をアップデートしていくことを目指すプロジェクト。**2020年度は「With/Afterコロナ時代の新しい生活」をテーマに募集予定。**

### クロス・センダイ・ラボ

多様な課題の解決に向けて、民間企業等と仙台市とが連携し、それぞれの持つ資産を掛け合わせる（X[クロス]）ことで、より大きな価値を創造することを目指して試行錯誤していくラボ。**新型コロナウイルス感染症を踏まえた業務及び事業遂行に関する民間企業等との連携・提案・アイデアを庁内から抽出し、民間企業からの提案募集中。**



**Tohoku Future Builders (MAKOTO, KDDI)**  
 東北を拠点としながら、次のステージへ進む起業家に向けた成長支援プログラムです。成長意欲のある東北の起業家たちを集め、集合研修、E-Learning、ハンズオン支援などのサポートを実施。集合研修では経営者としての時間を確保し新しいステージの戦略を生み出す支援を、ハンズオン支援では参加した起業家の方々が確実に前身できるサポートを行う。



**INTILAQ起業支援プログラム (IMPACT Foundation Japan)**  
 INTILAQ東北イノベーションセンターのハード機能に加え、起業家精神の育成を目的としたハウスレクチャーシリーズや、グローバルコミュニケーション講座、起業講座、デザイン思考ワークショップ、事業計画・財務計画の作成、法的な助言、市場調査、広報活動、投資家へのPRなど、幅広いトピックをカバーするメンタリングサービスを提供。

**産学官金との連携を行いながら、東北の強みや資源を活かした支援を展開**



**enspace (エンライズコーポレーション)**  
 東北最大級のコワーキングスペース&シェアオフィス機能に加え、地域内外の様々なアクセラレーター等と連携しイベントやプログラムを実施。定期的開催されるenspaceビジネス交流会、ビジネスバンクグループと連携したプレジデントアカデミー、ゼロワンブスターと連携した事業創造プログラムなど多数。



**EO North Japan Quantum Leap (EO North Japan)**  
 世界的経営者コミュニティEOの東北支部が実施するアクセラレーションプログラム。総時価総額1兆円以上の創業社長の経験を活用し、経営者同士による経験のシェアと学びあいをベースに、様々なレクチャーとメンタリングにより成長を促す。東北6県を代表する企業経営者のピッチイベントも開催。

## スタートアップ拠点の形成に向け連携協定を締結

東北大青葉山新キャンパスに建設される次世代型放射光施設との連携を見据え、施設を利用する企業向けのオフィスや寄宿舍を備えた複合ビルを整備。仙台市、NTT東日本、NTTアーバンソリューションズの3者の連携協定を締結し、「多様なイノベーション創出に向けた取り組み」、「次世代放射光施設の産業利用促進に向けた取り組み」、「スタートアップ拠点形成に向けた取り組み」、「新たな街の回遊促進に向けた取り組み」をテーマに都心部の更なる活性化に向けた、新たな魅力や賑わいの創出を図る。

**仙台市 SENDAI CITY** 放射光の産業利用促進策の検討など  
 (「トライアルユース事業」での連携、普及啓発の取り組みなど)



**仙台市 SENDAI CITY** 事業成長支援、育成プログラム支援、起業家イベントの開催



2020年5月13日協定締結式

仙台エコシステム動画



東北経済連合会・東経連ビジネスセンター

- ・東経連BCの「100人を超える支援専門家」と「東北の産学官金の共創」による支援でダーウィンの海を渡り、成長軌道に乗せる支援を展開中。
- ・支援事例の中には1年で売上高を倍増させる支援事例も多く生み出している。



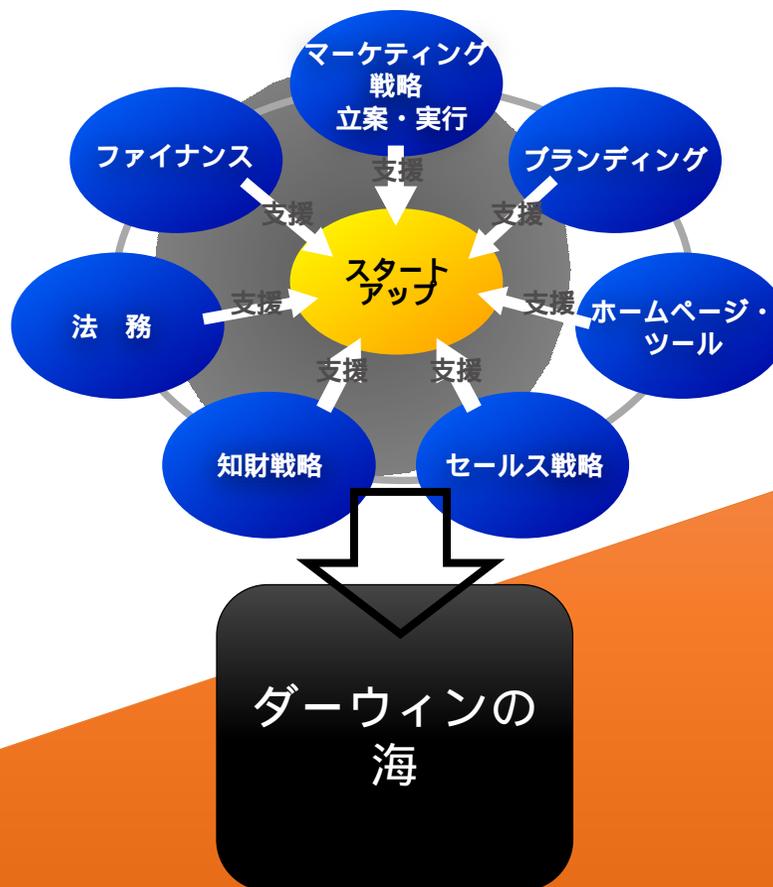
TOKEIREN BUSINESS CENTER  
東経連ビジネスセンター

Innovation for Growth™



東北大学ベンチャーパートナーズとイノベーション・エコシステムの構築に向けた協力協定を締結

東北大学発ベンチャーの成長を一層促し、東北地域をより付加価値が高く、自立的で強固な産業構造へ転換していくことを目指す。



株式公開  
M&A

起業

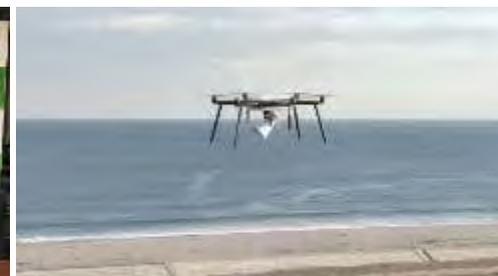
## グローバル企業との連携 (フィリップス)

オランダに本社を置き、口腔ケア等のヘルスケア事業において世界的に事業を展開しているフィリップスが、日本初の研究開発拠点 Philips Co-Creation Centerを2019年5月に仙台市内に開設。本市は、同社を事業パートナーとして、ヘルスケア領域の課題をITで解決することをテーマとした新たな取り組みであるHealthTech推進事業を開始。

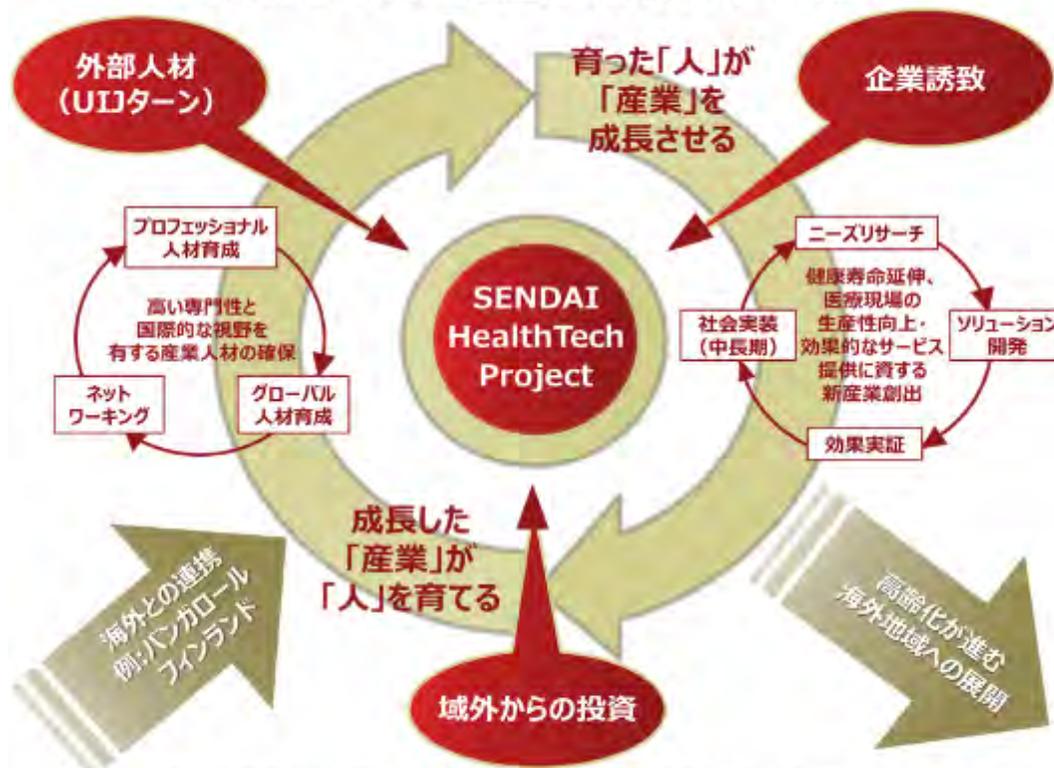


## グローバル企業との連携 (NOKIA)

2003年から続く仙台・フィンランドの関係の発展形として、フィンランドを代表するグローバル企業NOKIAと連携協定を締結(2017年10月) ドローン、IoT、次世代通信技術等を活用したまちづくりと、地域産業の活性化、国際化を推進

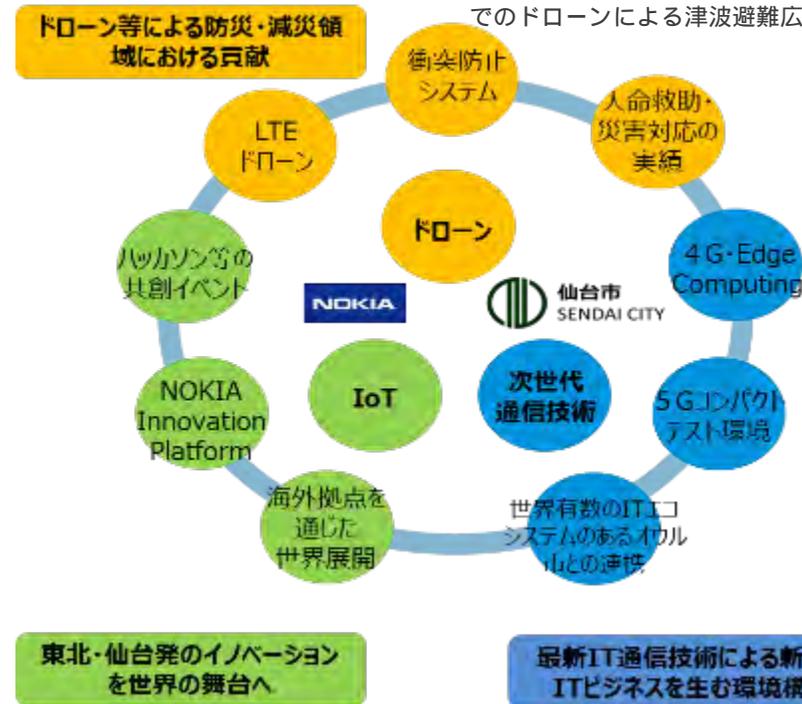


### HealthTech推進事業のスキーム図



※東北大学病院 臨床研究推進センター、加齢医学研究所等との連携体制の構築を併せて実施する。

世界初となるプライベートLTE網上のドローンによる津波避難広報



起業支援プログラムの実施

・ SENDAI ICT PITCH (NTTドコモ、NTTドコモベンチャーズ、Global Lab SENDAI)  
ICTサービスに特化したピッチコンテストを開催。東北から世界に挑戦するICTスタートアップを創出するため、最前線で活躍する投資家や企業経営者によるメンタリングの機会を提供。

<メンター企業>

・ NTTドコモベンチャーズ、東北大学ベンチャーパートナーズ、MAKOTO、七十七銀行、Klab ventures partners、Reapra ventures、Real tech fund

・ Global Lab SENDAI (NTTドコモ、東北のICT企業によるコンソーシアム)  
グローバルラボ仙台コンソーシアム (GLS) は、オウル市 (フィンランド) との産業振興協定に基づき、2013年12月に発足した仙台・東北にIT・GAME産業を創出するための産学官プロジェクトで、地域のICT企業が中心となり、大学生や高専生に対して実践的な起業スキル、開発スキルをレクチャーする。



仙台の企業が直接学生を指導



ITとGAMEのコンテストを開催



ハッカソンイベントを開催



起業家によるレクチャー

スタートアップ拠点の整備

- ・ NTT東日本新仙台中央ビル：スタートアップ拠点 (NTT東日本)
- ・ 仙台スマートイノベーションラボ：実証施設 (NTT東日本)
- ・ STUDIO080：スタートアップ拠点 (丸山運送)
- ・ THE6：スタートアップ拠点 (エコラ)
- ・ TRUNK：スタートアップ拠点 (仙台卸商団地協同組合)
- ・ cocolin：スタートアップ拠点 (東日本不動産、LASSIC)



課題先進地・東北を魅力と捉え、多様なキーパーソン・インフルエンサーが集結



株式会社MAKOTO  
代表取締役 竹井 智宏 氏

仙台のベンチャーキャピタルに勤務していた際に東日本大震災を経験。2011年7月にMAKOTOを設立し、東北の起業家・経営者の支援を開始。  
日本初の再チャレンジ特化型ファンド「福活ファンド」を組成。また東北のスタートアップに投資する「ステージアップファンド」を組成し、投資育成活動を展開。起業環境作りにも力を入れ、JPモルガンと「Tohoku Rebuilders」など育成プログラムを実施。東北大学の起業家育成「東北大学スタートアップガレージ」にも取り組んでいる。



一般社団法人IMPACT  
Foundation Japan  
代表理事 竹川 隆司 氏

野村證券にて国内、海外（ロンドン）勤務等を経て、2011年より米国ニューヨークにAsahi Net International, Inc.を設立。その後活動拠点を日本へ戻し、カタルフレンド基金の支援を受け東北の創造的復興の実現のため起業家育成の拠点として「INTILAQ東北イノベーションセンター」を設立。2016年に株式会社zero to oneを設立し、AIを含めた高度IT分野の人材育成をオンライン中心に推進。



株式会社エンライズ  
コーポレーション  
代表取締役CEO 吾郷 克洋 氏

地元の大学を卒業後、東京のベンチャー企業に入社。その後、IT系ベンチャー企業の立ち上げに参画し、2012年にはITインフラサービスに特化した株式会社エンライズコーポレーションを設立。設立から約6年間で国内5カ所と米国シリコンバレーにもサテライトオフィスを設ける。より社会課題の解決に直結する場所でやりたい」という思いから、東北にコワーキングスペース&シェアオフィス「enspace」を開設。エンジニア人材の「採用」と「育成」に積極的に取組み、新規事業のチャレンジなど、人と事業の成長に力を注いでいる。



Sendai Development  
Commission株式会社  
代表取締役 本郷 紘一 氏

25歳で起業、美容室やネイルサロン、飲食店、イベント企画会社を経営。「A cup of coffee fills our city. 一杯のコーヒーが街を豊かにする」の理念を掲げ、移動式コーヒーショップSENDAI COFFEE STANDで仙台の街角をおしゃれに彩る。学生とともに定禅寺通りを中心としたマルシェイベント「GREEN LOOP SENDAI」で70,000名の集客。公共空間を活用した起業家支援の仕組み「スタートアップ・マルシェ」も実施。リアルアントレプレナーとしてAI/IoT学生スタートアップのメンターやサポートも行い、仙台らしい起業エコシステムの構築を目指す。

## 課題先進地・東北を魅力と捉え、多様なキーパーソン・インフルエンサーが集結



株式会社グリーディー  
代表取締役 浜出 理加 氏

17年間ピーチ・ジョンで商品開発から売上管理、マーケティングまで幅広い業務と役割を担う。ワークライフバランスを強く意識するようになり、2017年2月退職。同年5月(株)グリーディーを設立。現在はホテルメトロポリタン仙台のアロマデザインをはじめ、香りを使った企業ブランディング中心に事業展開。女性の多様なキャリアをサポートしたいという思いから「国際女性デー | HAPPY WOMAN FESTA MIYAGI」を主催し2年間で1,000名の女性を動員。地方女性のキャリア形成における課題に取り組み、事業継続率や雇用率改善を目指し「1mm Innovation」プロジェクトを推進中。



株式会社Pallet  
代表取締役 羽山 暁子 氏

ICU卒後、インテリジェンス新卒入社。営業の後、人事部配属。全国50,000人以上の学生と「はたらく」意味を考え問い続ける。(株)ブレインパッドでIPOを人事マネージャーとしてサポート後、パートナーの希望で知り合いの1人もいない仙台に1ターン。女性の新しい働き方を実験しよう、フリーで活動。アドラー心理学に基づくコーチングコミュニケーションを元に、**エグゼクティブコーチ、組織のコミュニケーションデザイン、大学高校生のキャリアサポート**と共に、ハタムク仙台、SENDAI HR Lab.を立上げ、年齢立場を超えた横の関係で、より良く生きはたらくことを考え実現する場を主催。2018年(株)Pallet設立。



エイチタス株式会社  
代表取締役 原 亮 氏

1974年生まれ。法政大学法学部政治学科卒。編集者・ライターを経てモバイル業界に転身。営業、ディレクター、取締役等を歴任したのち、2009年、地元行政、企業と「**みやぎモバイルビジネス研究会**」を立ち上げ。ITベンチャーでの経験を活かしながら、地域で自走する人や組織、社会を作るための活動を展開。「Global Lab SENDAI」代表幹事。2016年エイチタス株式会社を設立。企業、自治体などあらゆる組織、テーマでの価値の探索のサポートを展開している。**共創による地域課題解決ICTプロダクト創出プロジェクト、Wellbeingリビングラボ**を実施。



株式会社Zoom Zoom English  
代表取締役 ジェイソン ルイス 氏

米陸軍の民事担当官として、新興市場の開発支援に従事。イラク、アフガニスタン、アフリカなどの地域住民の生活安定化を促進。その後ハワイを拠点に実業家として10年間様々な事業の立ち上げを行い、シリアルアントレプレナーとして活動。数年前に観光で来日した際、仙台の魅力に触れるとともに、ビジネスチャンスを見出し、仙台での起業を決意。現在は英会話教室「Zoom Zoom English」と外国人に対して**仙台や東北の魅力や起業環境を発信する活動「KIMIRA HOUSE」**を行い、**外国人向け起業促進プロジェクト「IGNITE SENDAI STARTUPS」**を推進している。

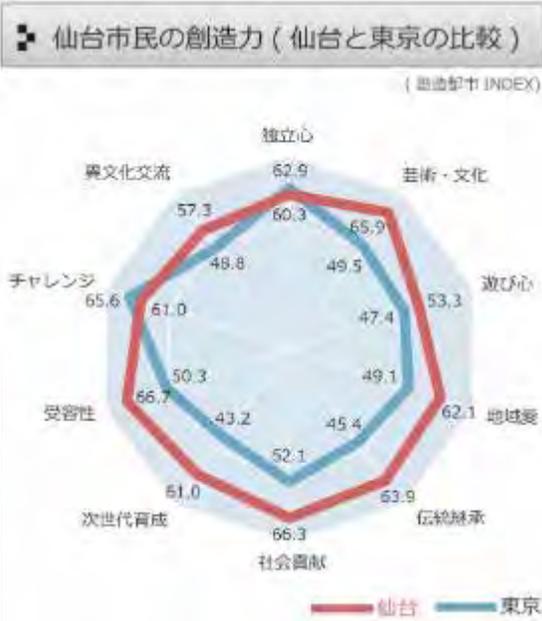
人材の宝庫 学都・仙台

「学都」の名にふさわしく、仙台都市圏には多くの高等教育機関があり、毎年優秀な人材が輩出されています。仙台都市圏の高等教育機関は100以上存在し、学生数は75,000人以上。特に理工系の大学・専門学校は数が多く、最先端の技術を学んだ学生が多くいます。

108万人の仙台市民のうち、20~30歳代の人口は27万人を超えており、人口に占める割合も27%以上と、他の主要都市と比べてもとても高い数値となっています。

クリエイティブシティ・仙台

真面目ではあるが、地味で保守的といったイメージを持たれてしまうことも多い東北人ですが、仙台の人材は東京の人材と比べても遜色のないチャレンジ精神や遊び心、創造力を持っているという調査結果も出ています。



❖ 東京や国内主要都市との良好なアクセス



首都圏からの抜群のアクセス

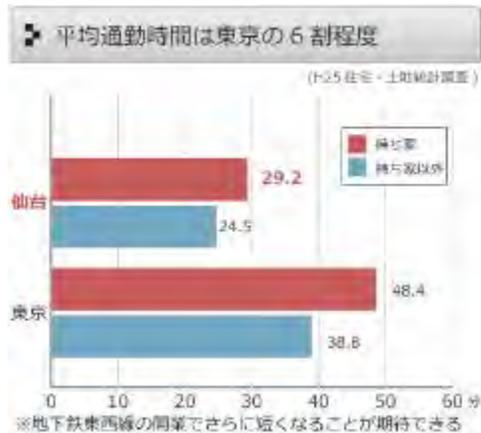
国際的なスタートアップ拠点としての発展を実現するためには、世界中からアクセスし易い立地であることが重要です。成田、羽田、中部、関西といった日本の国際空港のうち、国際便数で圧倒的シェアを占めるのは成田空港、羽田空港で、特に欧米路線の殆どがこれらの空港を発着場所としています。仙台駅は、日本の主要幹線の起点である東京駅と結ばれ、東北新幹線は、仙台-東京間を最短90分で結び、日帰りビジネスも快適な環境にあります。上記2空港を含む首都圏・近郊市街地や、国内主要都市とのアクセス性が極めて高い都市です。

**災害に強いまち 防災環境都市・仙台**  
 仙台市は非常に強い地盤の上に市街地が形成されており、地震に強い街であり、あれほど大きな揺れだったにもかかわらず、東日本大震災により倒壊してしまったビルは一つもありませんでした。また、宮城県沖地震での教訓から地震対策がなされていたことで被害は少なく、電気・水道などのインフラの復旧も早く進みました。  
 今後の起業活動には、BCP（Business Continuity Planning）の観点が必要と見られます。残念ながら、日本国内では地震を含む災害から完全に逃れることはできませんが、仙台市はリスク分散の拠点として有力な候補となりえます。また、東日本大震災前から進めてきた防災の取組みと、震災の教訓を踏まえた復興まちづくりにおいて「市民協働による取組み」と「市民力」が評価され、平成24年10月、世界で35都市目の防災の模範となる「ロール・モデル都市」として国連から認定を受けました。



**住み良いまち 杜の都・仙台**  
 仙台市は東北地方の街としては過ごしやすい気候です。夏でも最高気温が35以上の猛暑日はほとんどなく、また、冬も晴れの日が多く真冬日となることは稀です。気象庁の統計では、真夏日と真冬日の年間平均日数の合計は、国内の主要都市と比較しても非常に少なく、寒暖の差が少ない穏やかな気候であることを示しています。積雪も年に数センチが数回程度、どんなに積もっても20センチ程度と、東北地方としては非常に少ないです。

また、仙台のビジネスパーソンは平均通勤時間は東京の6割程度と結果が出ています。首都圏の通勤電車のような際立った混雑もなく、速くて快適な通勤ができます。通勤時間が減るということは、同じ時間働くとすれば、より豊かな余暇を過ごすこともできます。



**オフも充実するまち**  
 仙台は山や海でのレジャーも非常に身近です。市内のほとんどの場所から30分～1時間でどちらにも行くことができます。夏は登山や海水浴、サーフィン、冬はスキーやスノーボード、温泉など、思い立ったらすぐに行ける環境が整っています。食も豊かで、世界三大漁場の一つである三陸沖で獲れる新鮮な魚介類、食材王国と言われる宮城県や東北各地の名産品を身近に楽しむことができます。また、市民参加型のイベントが多いことも仙台の特徴と言えます。有名な七夕祭りを始めとして、仙台・青葉まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、光のページェントなど市民参加も可能なイベントが年間を通じてたくさんあり、市民を楽しませてくれます。プロスポーツも盛んです。東北楽天ゴールデンイーグルス、ベガルタ仙台、仙台89ersを始めとしたプロスポーツのホームゲームを身近で観戦することができ、いずれも地域密着型のチームとして市民にも広く愛されています。





**仙台市起業支援センター“アシスタ”**  
運営：公益財団法人仙台市産業振興事業団  
起業支援に関する専門家が常駐し、  
様々な相談にワンストップで対応  
（仙台駅徒歩2分）



**INTILAQ東北イノベーションセンター**  
運営：一般社団法人IMPACT Foundation Japan  
スタートアップ、社会起業家にコワーキングスペース  
やレジデンスブース、オフィススペース、メンタリン  
グサービスを提供  
（地下鉄東西線卸町駅徒歩5分）



**enspace**  
運営：株式会社エンライズコーポレーション  
東北最大級のコワーキングスペースで、会員間  
の交流を促すイベントやセミナー等を定期的に  
開催  
（地下鉄東西線青葉通一番町駅徒歩6分）



**仙台駅から半径5km圏内に主要なスタートアップ支援施設が集積し、  
地下鉄等公共交通アクセスも抜群**



**コワーキングスペースcocolin**  
運営：株式会社LASSIC  
コミュニティ形成を重視し、多様な起業家が集  
うコワーキングスペース&レンタルオフィス  
（地下鉄南北線五橋駅徒歩1分）



**東北大学連携ビジネスインキュベータ（T-Biz）**  
運営：独立行政法人中小企業基盤整備機構  
大学等の研究シーズを活用し、チャレンジする起  
業家にオフィススペース・研究スペースを提供  
（地下鉄東西線青葉山駅徒歩2分）



**NTT東日本仙台中央ビル（建設中）**  
運営：東日本電信電話株式会社  
次世代放射光施設と連携しスタートアップ輩出  
の中核となる拠点（コワーキングスペース&ラ  
ボ&イベントスペース）  
（仙台駅徒歩7分）

- ・ アシスタ交流サロン
- ・ enspace
- ・ INTILAQ東北イノベーションセンター
- ・ TAGE community
- ・ STUDIO080
- ・ THE6
- ・ TRUNK CREATIVE OFFICE SHARING
- ・ ビジネスデザインセンター
- ・ Incubation Center FLight
- ・ cocolin
- ・ 東北大学スタートアップガレージ
- ・ 東北大学メディカルハブ
- ・ SENDAI COFFEE STAND
- ・ Food&Karaoke DUNK
- ・ NTT東日本仙台五橋ビル 他



**東日本大震災以降の起業機運の高まりに合わせ、コワーキングスペース等が増加  
起業家コミュニティをつなぐイベントも多数開催**



東北の文化である「芋煮会」と「コミュニティ」を合成した造語として「STARTUP IMONITY（イモニティ）」を創り、様々な施設やプログラムと連携し、「エコシステム」を形作る「コミュニティ」の強化を行う交流イベントを月に1回程度開催。



サマリー動画





SENDAI for Startups! 主催者：仙台市他  
 場所：仙台国際センター 参加人数：約1,000名  
 概要：地方最大規模の起業イベントを毎年2月に開催。起業家育成プログラムに参加した起業家のピッチや、全国の著名経営者の講演などが開かれる。参加する起業家たちはイベントに集まる全国の大手企業や投資家らとのネットワーキングができ、事業提携や資金調達の機会に生かすことができる。



サマリー動画



SENDAI Entrepreneur Week 主催者：仙台市他  
 場所：仙台市内各所 参加人数：約3,500名  
 概要：地域内外の支援機関等と連携し、仙台市内で様々な起業に関するイベントを多発的に開催。多様な起業のあり方を発信するとともに、地域を挙げて起業家を応援する雰囲気醸成。

## 地方最大規模の起業イベント「SENDAI for Startups!」を中心に年間を通じて多数のイベントを開催し、ステージに応じたサポートを実施



IGNITE SENDAI CONFERENCE 主催者：仙台市、KIMIRA HOUSE他  
 場所：INTILAQ東北イノベーションセンター 参加人数：約70名  
 概要：仙台における外国人の起業をさらに加速させるため、様々な支援施策やロールモデルとなる外国人起業家によるトークセッションを実施し、仙台の起業環境のPRと支援者とのマッチングを促進（全て英語で実施）。



Polar Bear Pitching in Sendai 主催者：仙台市、MAKOTO他  
 場所：青葉の風テラス 参加人数：約70名  
 概要：産業振興協定を締結しているフィンランド共和国オウル市で開催される氷の湖でのピッチ「Polar Bear Pitching」への出場をかけた、東北の若手起業家のピッチを開催。グローバル展開を目指す起業家に対して海外の投資家とのマッチング機会を提供。



## 平井ピッチの開催

2019年8月19日 平井大臣に仙台へお越しいただき東北大学「知の館」にてHIRAI Pitchを開催。東北を代表する起業家8名からのプレゼンテーション、支援者6名からのピッチののち、「東北スタートアップによる復興からの飛躍」をテーマに、震災後の8年間の東北のスタートアップ環境の変化、地域経済界のスタートアップに対する支援状況、東北地方のポテンシャルなどについて車座でディスカッションを行った。

### 【東北の起業家8名】

- ・株式会社マテリアル・コンセプト 代表取締役 小池 美穂 氏
- ・ポールウェーブ株式会社 代表取締役社長 赤尾 慎吾 氏
- ・セルスペクト株式会社 代表取締役兼CEO 岩淵 拓也 氏
- ・株式会社Adansons 代表 石井 晴揮 氏
- ・株式会社ispace Director & Technology Advisor 吉田 和哉 氏
- ・株式会社ワンテーブル 代表取締役 島田 昌幸 氏
- ・株式会社ポケットマルシェ 代表取締役CEO 高橋 博之 氏
- ・株式会社MAKOTO 代表取締役 竹井 智宏 氏

### 【東北の支援者6名】

- ・一般社団法人IMPACT Foundation Japan 代表理事
- ・株式会社 zero to one 代表取締役CEO 竹川 隆司 氏
- ・一般社団法人EO North Japan 会長 清水 龍在 氏
- ・株式会社七十七銀行 地域開発部長 茂田井 健太郎 氏
- ・仙台経済同友会 起業支援委員長 今野印刷株式会社 代表取締役 橋浦 隆一 氏
- ・仙台市経済局産業政策部産業振興課 起業・創業支援担当主任 白川 裕也 氏
- ・東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社 取締役投資部長 樋口 哲郎 氏

